

子育て支援・移住定住など 増額補正予算を可決

第16回鏡石町議会定例会は6月10日(月)から14日(金)まで開かれ、平成30年度補正予算などの専決処分や国民健康保険条例、介護保険条例の一部改正、令和元年度一般会計補正予算など合わせて28の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月11日(火)に行われ、2名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。



交通指導を受ける保育園児

専決処分など報告 12件を承認

今定例会では専決処分等12件の報告があり、一般会計及び特別会計合わせて8会計の年度末精算に係る補正や一般会計、農業振興整備計画総合見直し事業の継続費、道路整備2事業の繰越明許費について、報告のとおり承認されました。

移住定住支援・子育て支援・道路整備などに増額補正予算

令和元年度一般会計補正予算では、歳入歳出総額106,231千円を増額する補正予算を審議し、原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。
・来て「かがみいし」移住定住促進事業1,745千円
・ふくしま移住支援金3,200千円

陳情3件を採択

今定例会では、8件の陳情が審議され、採択3件、不採択2件、継続審査が3件となりました。採択された陳情は次のとおりです。
1. 教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める陳情
2. 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情
3. 国連の「沖縄県民は先住民」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情



表彰を受ける渡辺定己議長

自治功労者 表彰伝達

平成31年2月6日開催の全国町村議会議長会第70回定期総会において表彰を受けた自治功労者表彰の伝達式が第16回定例会に先立ち行われました。渡辺定己議長が、議長在職7年以上での授賞、及び町議会議員として15年以上の在職としての授賞、二つの自治功労者表彰を授賞されました。おめでとうございます。

議員が

町政を問う

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
4	今 泉 文 克	○ 鏡石町第5次総合計画について ○ 安定的な財政確保について ○ 産業振興について
5	畑 幸 一	○ 活力ある町づくりの展望と行政の課題

議会傍聴へお越し下さい

次回の9月定例会は、新たな任期が始まる第1回定例会であり、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

議会運営委員会 事務調査報告

今回の議会運営委員会の所管事務調査は、神奈川県大井町、箱根町の先進的な2つの議会について調査研修してきたが、いずれも議員自ら考え実践している熱意と行動力そして、議会自らの情報発信力について大変参考になりました。まず、大井町議会では議会基本条例制定後1年で議会改革研究会を立ち上げ、具体化する取り組みや評価・検討を行い、議会自ら活性化に取り組みながら、町民の負託にこたえ、信頼され存在感のある議会となるよう努めることとしています。また議会報告会は、「町民との意見交換の場」の一つとして、議会自らが町民に議会活動の状況等を報告するとともに、町民の関心や意見を聞く機会として、年1回以上町内各地域の会場で開催しています。

一丸となって、町民との協働のもと、町民に開かれた、参加しやすい議会の実現や公正で透明性の高い議会運営を進め、議員の資質の向上や議会機能の強化に努めています。更に町民の多様な意見を把握し、町政に反映させるための取り組みとして、「箱根町議会と町民の意見交換実施要項」に基づき、意見交換会を実施しています。今回の事務調査では、いずれも多くの実績を誇る議会・議員活動が実施されており、議員各位の意識の高さを実感しました。



視察研修の様子